

市長と語るう地域懇談会 記録

【日時】平成26年10月1日(水)午後6時30分～8時45分

【会場】栄町コミュニティセンター

【対象地域】栄町、若葉町、幸町

【出席者】28人

担当部	意見・要望などの要旨	回答の要旨
<p>総務部</p> <p>経済部</p>	<p>人口減少問題は、日本全体が減るのでその中で少しでも富良野が減らない形が良いと思う。就職先がないので、子どもたちが出ていく、若い人が居なくなる悪循環である。</p> <p>観光に携わるものとして、観光をいくら大きくしても人口が増えない。地元の人で、間に合う。人口を増やすためには、企業誘致しかない。土地条件や交通の便が厳しいが。</p>	<p>【市長】全国の1,700の市町村でも深刻な状況にある。元気な人は、70歳を超えても働ける状況にある。65～75歳の人を就労人口にしていくことが私の持論である。</p> <p>この年代を農業に向け、お年寄りで、元気な人には、働く場を作っていく、国や全国市長会等にも話していく。</p> <p>観光が就職につながらない。農業の6次産業化により、就労化につながる。農業生産物を加工して、販売する。今後、6次産業化をもっと発展させる。</p> <p>チーズ工場は、昭和50年代に牛乳が余って捨てていた時代に考え、今は、年間2億円以上を売り上げ、20人前後の人が働いている(季節的ではあるが)。</p> <p>観光では、人口が増えにくいので交流人口を増やす。</p> <p>山部の体験村のように昔取った杵柄で、自分の特技を活かしてもらおう。参加してくれる観光客が増えてきた。そういった技術を観光に活かしても良いのではないか。</p> <p>企業誘致の関係ですが、六花亭が入ってきた。来年に向け、西学田の農地3戸分を譲り受け農業生産法人で、検討しているようである。気象条件の変化により、山梨県からワインメーカーがワイン用のぶどう畑として7haの農地を山部に求めてきている。山梨県では、暑すぎてぶどうの甘味が出にくくなってきているので、北海道に進出してきている。また、6年前から山形県のサクランボ園で、佐藤錦を植え始めるなど、本州から北海道に移動し</p>

<p>経済部</p>	<p>お金のいる人や企業は、北海道の土地が安いから買えるが、若い人が富良野に来て就農するのは、大変である。最低でも6～7haの土地が必要だと思うが取得が大変である。福岡から来て、20年近く農業の手伝っていた人が知り合いでいたが土地を分けてもらえず、帰ってしまった。富良野にも空いている農地がたくさんあると思うので、そういった人にも安く就農できるような体制をとっていくべきでは。</p>	<p>てきている。 観光だけでは、人を増やすのは、難しいが健康と観光を合わせた取り組みをしたい。富良野・美瑛広域観光で、平成29年にブランド観光圏の指定を受けられるよう努力し、新たな観光による状況を作っていきたい。 【副市長】観光で富良野に来て、富良野が良くて移住されている方もいる。 【市長】今、市・農協・関係団体で育成センター協議会を立ち上げ今後、5年間で40人程の新規就農、Uターン者等への育成を国・道・市の補助等により実施するが、これには地域が迎えてくれるような状況が必要となる。今回、東山地区をモデル地区として、スタートする。まずは、農家に入り、手伝いながら、2年目から自ら農業をする基礎をつくり、3年目は試運転、4年目で、離農跡地や後継者のいない農地に入っていける仕組みで考えている。富良野に来て農業をやりたい人が荒地では、やっていけない。 地域で受け入れ、連携していくことが必要。 今後、東山 山部 麓郷、布礼別と進めていきたい。 できることを地域ぐるみでやっていく。4年後には、何組かが地域でスタートできるものと考えている。</p>
<p>総務部</p> <p>経済部</p>	<p>富良野は、他の自治体がうらやむような知名度はあるが、財政は、今まいた種が10年、20年後に成長するような身の丈にあった農業・観光の施策をしてほしい。</p> <p>人が減らないようなもので、企業誘致が手っ取り早いですが、なかなか難しいと思う。富良野らしく市民で応援できる農業やボランティア等で手伝える観光事業など、富良野市民で守ろうと思える施</p>	<p>【市長】市の財政は、歳入が固定資産税、市民税・都市計画税などで24億円程、国の交付税は、収入の44%（約49億円）くらいになる。税収を増やすには、働く場所を増やすしかない。税収を増やすだけでなく市民の懐具合を増やす方法も検討が必要。例えば、パチンコをする方がいると思うが、それはそれで良いと思うが、1日のうち、3時間くらいを労働に向けてもらえ</p>

	<p>策を進めて欲しい。</p>	<p>ば、労働力が増える。1日中の労働でなく短時間で労働でも良いと思う。中心市街地で、店舗が15店舗新たに増えた。すべてよそから入ってきた。空き店舗も減少。融資拡大や家賃助成、店舗改修の助成などしている。これからも増える可能性はある。平沢に東京からプリン屋さんが入ってきた。販売網は、インターネットと聞いた。もっともっと入りやすい状況づくりが大事だと考えている。</p>
<p>総務部</p>	<p>人口減少を食い止めるのは、難しい。少なくなってきたてもその地域が元気でいられる街である仕組みを考えることが大事。</p> <p>富良野全域の地域コミュニティが均等であるかと言えばそうではないと思う。進んでいるところと遅れているところがある。入ってきた人がどの地域に住んでも同じような恩恵を受ける必要がある。私の町内会では、町内会に入っていない人には、広報などが配達されない。地域コミュニティ組織のあり方を再編するようなことを、すぐにはできないと思うが行政が地域コミュニティを支える仕組みをつくって行かないと、富良野全体が連携していかない。既存の町内会組織あるが改めて考えて欲しい。</p>	<p>【市長】コミュニティについて、街中では、家が歯抜け状態のところも多く、町内会が維持できないところもあると聞く。町内会は、任意だからと町内会に押し付けているように見受けられる部分もあるということは、認識している。各連合会単位に2名のコミュニティ推進員を配置している。行政の職員は、何をしてもらうか、何の要望に応えていくかなどの聞き取りや各地域のコミュニティの組立をどういう形がコミュニティに活かせるのか考えて行く必要がある。職員にもっと汗をかいてもらいたい。町内会に加入していない人には、広報誌が届かず、子どもの予防接種や健康診断の時期がわからなくなる。</p>
<p>経済部</p>	<p>農地を守るために農地法があり農業委員会ある。規制が厳しい。簡単には、農業ができない。どこの市町村も同じことを考えていると思うが富良野市は、一歩先に行くべき。国の特区を農業の就農に入れてはどうか。富良野にあった特区を作ることで、農業のあり方が変わってくる。遅れれば農地が荒れてくる。</p>	<p>小さな改善策は、実施しているが抜本的なものには、なっていない。もう少し、市の職員がコミュニティづくりに傾注できる体制を検討したい。</p> <p>家主に町内会費も合わせて集めることができないか協力してもらうことも必要だと思う。町内会も役員年齢の高齢化などで、担い手がいない点については、小さい町内会については、隣の町内会と一緒にすることで、町内会の拡大が対応できないか検討したい。</p> <p>農業については、農業生産法人をもっと作ったり、企業との組み合わせという方法もある。企業の農業生産法人に技術指導する事</p>

<p>建設水道部</p>	<p>東4条通り、今のマルシェ2の工事により整備され、マルシェ側の歩道の縁石はフラット化（低い）されるが、私の家の前の歩道の縁石は、少し高く、冬になると雪によりさらに高くなり、車道も狭いため、車の腹を擦ってしまう。マルシェ側と同じようにフラット化してほしい。</p> <p>留萌の知人の息子が富良野市内で就職したが留萌と比べると、アパートの家賃は富良野の方が1万円以上高い。もっと安いところがないのか。市内に就職する人や若い人にもっとたくさん住んでもらうために、安いアパートを提供したほうが効果的。</p>	<p>例もある。</p> <p>市街地においては、マルシェによりもっと波及効果ができるように第2期中心市街地基本計画をつくり、本通り、新相生通りに五条通りから人が流れるようにし、常に人が流入し回遊するような計画にしたい。農業や、市街地にも新しい風を入れていただけるような状況づくりをする必要性があると思う。</p> <p>【建設水道部長】現場を確認する。</p> <p>【市長】不動産会社で新しく建てるところが増えているが、古い物件もたくさんある。若い人も古い物件から新しい物件に移ってきている。</p> <p>安い物件もたくさんあると思う。建設水道部長に古いアパートなどの価格体系を調査させる。</p>
<p>建設水道部</p>	<p>若葉町に住んでいる。家の前の歩道ブロックに段差がある。一度現場をみてほしい。</p>	<p>【建設水道部長】現場を確認して対応する。</p>
<p>経済部</p>	<p>マルシェに大型観光バスが来ても駐車場には入れないので、お客を降ろすと道路に駐車して並んでいる。駐車場が一杯だと、一般車両も車道に並び出す。道路を横断するとき、危ないと思うが。</p>	<p>【経済部長】大型バスは、お客の乗降で駐車をしている。長時間、駐車しないよう、まちづくり会社にバスの移動周知を徹底してもらおう。</p>
<p>総務部</p>	<p>空知川の水が氾濫した時に水位がここまで来るという標識があるが（幸町は、高さ1m）緑峰高校の所で、3mになっている。標識には「ふれあいセンター」が避難所になっているが年寄りには、そこまで行くは、大変である。</p>	<p>【総務部長】ハザードマップで地域住民のみなさんへの認識を高めてもらうため、標識を設置。水害等での一次避難所は、自宅の2階でも良い。身近な緊急な避難場所で身の安全を一定時間確保できれば、市の方で対策できる。その後2次避難場所として、</p>

<p>総務部</p>	<p>金山ダムの決壊は、大丈夫か。もう古いので一番危ない。</p>	<p>高校などの高層階のある場所へ避難してもらう。ふれあいセンターは、福祉避難場所として指定されている。 地域でも自主防災組織等で日ごろから避難訓練や避難場所について検討してほしい。</p> <p>【副市長】今月の広報（本日発行）に掲載しているが、市民施設見学会で、金山ダムの見学会を開催している。その中で、市民の方が実際にダムの担当者から説明を受け、「安心した」との声も聞かれた。現場を見た方は、説明を受けている。みなさんも自分の目や耳で直接、現場を見たり、話を聞いて欲しいと思う。今後もこのような防災に関連した企画も検討していき、みなさんにも参加していただきたい。</p>
<p>教育委員会</p>	<p>学校では、どんな教育しているのか。 朝、家の前を通る子供を見て「おはよう」と言ったら逃げる。 学校では、「人を見たら逃げろ」と言っているのか。 事件や事故に巻き込まれないようにするためなのか。 朝、気軽におはようと挨拶もかけることもできない。 教育は、家庭や地域と連携して行うべき。 私の子どもの時は、人を見たら頭を下げろと言われた。</p>	<p>【教育長】人と人との関係を大切に、コミュニケーションをとる、挨拶をきちんとする、感謝、相手を敬うことを教えている。 学校と地域の連携として、学社融合事業、学校支援ボランティアなどを通じ、今後も地域に関わっていただきたい。地域の方ともふれあいの機会を増やし、みなさんにもっと知っていただけるよう挨拶については、しっかりやっていくよう指導していきたい。 また、市では「いじめゼロ推進条例」の制定を行い、小中学校でいじめの温床をなくし、すそのの広い運動にしていきたい。</p>
<p>教育委員会</p>	<p>家の近くで、朝の通学時間中に高校生がタバコを吸いながら行ったり来たりし、畑に吸殻を捨てていく。注意したいが怖い。 家のベランダからよく見える。また、夏は、アイスを食べてごみを捨てていく。そういうことを学校の先生は、知らないと思う。</p>	<p>【教育長】高校と協議しながら対応し、指導していきたい。</p>

建設水道部	東4条の点字ブロックの位置について、点字ブロックに沿って歩くと、電柱や水銀灯にぶつかる場所に点字ブロックが設置してあるが。	【建設水道部長】現地を確認し対応する。
総務部	防災について 金山ダムや空知川、ゲリラ豪雨対策として、大雨が来た場合の一時避難所を市で指定できないか。逃げるできない人の場合は。	<p>【総務部長】避難所については、地域からの質問も多い。避難所には、一時集合場所 一次避難所 収容避難所などがある。市が指定した場所に必ず行く必要はない。まずは、自宅の2階などにおいて、自宅でも無理そうな時は、一次避難所に行き、水が引くまでいる。まだ水が引かないときは、移動しないで、待機している。収容避難所は、生活する場として設置している。</p> <p>法律の改正により各地域で立ち上げた自主防災組織などに市の持っている個人情報を提供できるようになった。各地域で情報を管理し、対応してほしい。</p> <p>【市長】基本的なことを説明したが地域で日ごろからの訓練等で習慣化できるようお願いしたい。</p>